



MOVIE LINEUP 100 2015.11-2016.1

キヌの100周年記念特別号

今号のごあいさつ
支配人 中島ひろみ
雪宮が重い初音で降りました。キノの初音を、遂にムービーラインナップ100号(1)が...

ムービーラインナップ100号のごあいさつ
シタターキョ代表 中島洋
1992年にシタターキノがスタートして、2月か1度ぐらゐのペースで発行してきました上巻...

シタターキノ100周年を迎えるにあたって
五代目支配人 洋島・メリエス・サラ
「再興株主」秋山啓生と理事秋山啓二さん

Table with 4 columns: 西1, 西2, 西3, 西4. Lists movie titles and times for the 100th anniversary event.

デジタルネイティブ世代の台頭と共に、日本映画はNEXTへ
—1980年代後半(以降)生まれの新鋭たち
森直人 映画評論家、ライター

いまや「新鋭」と呼ばれる映画監督は1980年代生まれがメインとなっている。例えば日本で、「敦けい」や「さようなら」などシネフィル的な映画教養にグローバル化する日本社会の問題を掛け合わせ、海外映画祭での実績も着実に積んでいる渡辺亮司(80年生)。「イエローキッド」や「NINJUN」など、殺戮ハードコアな映画の魂を叩きつける真利子哲也(81年生)。「サッドティ」など、独自のスタイルで恋愛劇を作り続ける今泉力哉(81年生)...

彼らは其々の作風も志向も異なる、個性のバラつきがそのまますら作家の多様性を象徴しているが、これが80年代後半生まれになると、もっとあつちかんとフレッシな様相を見せる。本稿では日本映画のNEXTを担っていくであろう新世代の作家たち、特に筆者が注目しているふたりのシネアストを中心に紹介したい。

まずは山戸結希(89年生)。あのカナダ発の俊英、グザヴィエ・ドランと同じ年でも彼女の俊英は愛知県東上。上智大学哲学科在学中に日本のインディペンデント映画に魅了され、自ら会長となり映画研究会を設立し、その大学の仲間と撮影した「あの娘が海辺で遊んでる」(11年)は「機材の使い方の基本も知ら...



いまも、パンクの衝動を映画に刻みつけた奇跡の処女作。自らの思考と感性だけを頼りに、狭く狭い映画空間を表現した点でかつてのヌーヴェルヴァンクールより過激だ。その資質を一貫し端正なフォルムと結晶させた大傑作が「おどろき話」(13年)。内容は地方都市の女子高生が教師への片想いを暴発するラストシーンだが、冒険した主演の雄胆による苦悶で、詩的なモノローグが炸裂し、そのままハイテンション...

おそろく彼らデジタルネイティブ世代にとつて「映画」は、従来の貌とはまったく異なる表現手段として捉えられているはずだろう。これらも動向を注視し、明るい未来を追ってみたい。

かつて知り合いのM監督の家に行く作品のラッシュを見られ意見を求められた。当時の若造は困惑し酔って迷宮入りするの常だった。キノに行くところを時々思い出す。何かが開始されるような遠い大気がそこについているからだろうか。

ヨーロッパから故郷札幌に帰国して間もなく誕生した小さな映画館。この街にキノがあるから、多形な資色への想像力を広げ、追求することができます。私を悩まし、成長させてくれたオアシス。ありがとう!

学生映画感想文コンクール
受賞作品の紹介

- 優秀賞 佐藤 颯さん 高次郎高等学校 「野火」
奨励賞 松本菜穂さん 小樽高等学校 「ピクニック」
グランプリ 該当なし

「野火」 佐藤 颯
肉塊のような映画だった。すべてが剥き出しの強迫と有るを言わぬぬ説得力をもつて、映画を観たというより喰ったという印象が強烈に。
是れはあつちかんとフレッシな様相を見せる。本稿では日本映画のNEXTを担っていくであろう新世代の作家たち、特に筆者が注目しているふたりのシネアストを中心に紹介したい。

殺す、この映画はあつちかんとフレッシな様相を見せる。本稿では日本映画のNEXTを担っていくであろう新世代の作家たち、特に筆者が注目しているふたりのシネアストを中心に紹介したい。

kimoo antique, BUND CAFE, 本とケーキのみもの店, きのこカフェ, Alter-Skole, Hair Midget, LAWSON, 88, アダインキ, BETTY, bonsaiのアトリエ, kusa-tsuki, cagra, 共働事業所 7所17行

映画と仕事のわたしのこと。http://www.jobkita.jp/

広告募集中心! 19 (縦24mm×横44mm) ¥5,000 15,000発行 1日1回印刷可能(土日祝日除く) 011-231-9355 (ツタエキ)

12月11日(金)公開
わたしがマララ
17才でノーベル平和賞を受賞。
ふつうの女の子が
世界を変えようとしている。
サンローラン
女性の生き方で変えた天才デザイナー、
イヴ・サンローラン
最も輝き最も墜落した激動の10年間に迫る

「最初から従来の伝記映画を作るつもりはなかった。観客にはサンローランという人を見てもうらやなくて、できる限り彼という人間を身近に感じてほしいと思った。サンローランがサンローランになった経緯についてではなく、サンローランになるために払った犠牲、彼の内なる感情により近づくと本作を描いた」とボネ監督は説明する。華麗なる成功の裏面にあふれる命の創造の苦しさとスランプ、心を打ち砕くほどの愛の苦痛、公では語れなかった真実があった。

サンローラン・スタイルのクリアだが全編と興行力のある独特の色合いを再現するために全編35ミリフィルムで撮影。光にこだわった陶器の映像が作られた。最大の難関は、イヴ・サンローラン財団の協力が得られなかった。伝説のコクシオンほとんどをなくないこと、それから上げなければならなかったこと、表裏は徹底的にリサーチし、すべてオーダメイド。サンローランの精神にそむくことのないよう、素材、縫製に至るまで実際のアトリエを作り、お針子屋(台詞もあつち)細心の注意を払った。そして1960~70年代のモードに革命が起きた時代を完璧に再現し、見事セザール賞最優秀衣装デザイン賞を受賞。

11/7 札幌国際芸術祭2017 勝手に応援キノトークシリーズ
札幌国際芸術祭2017も、芸術監督に大友良さんが決まると、いよいよスタート。キノが勝手に応援するシリーズも、今月は盛りだくさんで加勢することになりました(笑)。
11/14
11/21
秋のキノ祭 ~旅するアジア~
アジア映画が面白い!ホウシャウエン、チェンカイコー、チャンイーモウたちが世界デビューした80年代から、アジア映画の波は度々訪れていますが、新しい見方がまた想像力です。雄大な自然や、アウローナたちを通じて描かれる、は映後の持つ知り知れない「力」と想像力でしょう。徹底に設計された映像・音響・美術、その才能が溢れだす「草原の真実」。巧みに構成された脚本の渦の中に男と女が溺れ、私たちがまたその渦に巻き込まれていくな「無解演 迷った罪」。自然の大きさを前に、子どもの成長とど密接な関係にあるものはなのではと思わせる「僕たちの家に帰ろう」。どれも、映画の可能性を広げてくれることでしょうか。どうも、映画でアジアを旅する秋のキノ祭であらみください。

11/22
「首相官邸の前で」緊急特別上映&トーク!
今、あなたが生きているこの時代の未来に不安を感じたいと思うなら、この「首相官邸の前で」が、最も最適な作品です。私たち人間の未来の民主主義を擁護するための物語といえる2012年の夏の首相官邸前。そしてその映像の多さは、参加者自身が撮影した歴史大生の現場の映像です。それは新しいネットワークがどこそこを描きたくと身体を集積へと生きます。必ずやこの映像が新しい歴史の第一歩だと証されるかと確信しています。

12/19
2016年度キノ会員 受付開始!
ピンテッジ会員・スタガード会員・シニア会員・学生会員
ご利用期間:2016年4月1日~2017年3月31日 詳しくは専用チラシを。

Alliance Française de Sapporo, 板東珈琲, 自然食品専門店, 映画と仕事のわたしのこと, 妹家, AVIBLE, 横濱家系ラーメン, atelier cerca, ELSKA, kino cafe, ジョブキタ